



【甲子園ボウル—SDGs 未来に紡ぐゲームプランプロジェクト】について

甲子園ボウルは76回大会を迎え100回大会に向けて新たな25年のキックオフを致しました。固定されたスタジアム（地域）で歴史を重ねるボウルゲームという米国のアメリカンフットボール文化。日本でも唯一無比の存在となるこのボウルゲームは、1年に一度、この日だけに歴史ある甲子園球場の内野グラウンドに芝生を敷き、非日常の空間の中を作り上げ、多くのスポーツファンを魅了して来ました。76回目となる昨年、歴史ある大会を未来へ紡ぐために学生たちと考える大会、競技、地域、そして地球の未来を考える【甲子園ボウル—SDGs 未来に紡ぐゲームプランプロジェクト】を立ち上げました。今回の取り組みでは大会開催を通じた継続的な社会貢献事業の実装を目指し、学生の主体性とアイデアのアップデートを行い、どのように地域社会に貢献し、多くのステークホルダーと共創することで大会価値を高め、この活動を25年後の未来にバトンを繋いでいきたいと考えています。私たちはこのプロジェクトを4Q for SDGsと名付けて活動をしています。



私たちの活動について

昨年の第一メンバーはこの活動を未来に紡ぐために～CHAIN つなぐ つながる つなげよう SDGs～というスローガンを掲げました。今年からは11月から関東、関西の試合会場や他競技プロスポーツの試合現場などで車椅子スポーツの啓蒙やスタジアムアリーナの周辺でのゴミ拾いなどのアクティベーションを実施する予定です。また、各地のフットボールチームの活動を繋げていく為に、各団体の社会貢献活動をSNSや甲子園ボウルのサイト上で12月から大会当日まで随時、ご紹介していく予定です。まずは是非、4Q for SDGsのインスタグラムのフォローをお願いします。



甲子園ボウルの芝生を再利用して

子供達が遊べる広場を作りたい！芝生移設プロジェクト

甲子園ボウルでは2009年全面改装した甲子園球場の施設を最大限活かすべく65回大会より内野に天然芝を敷設して試合を行っています。これまで有効的に再利用出来ていなかったこの芝生に「甲子園ボウル SDGs プロジェクト」は着目し今後、複数年かけて甲子園ボウルの芝生を神戸のメリケンパークに移設し、皆が気軽に集える天然芝のフィールドを作ります。甲子園ボウルではこの芝生移設費用の捻出にクラウドファンディングを開始いたします。是非、趣旨へのご理解賜り、ご協力をお願い申し上げます。



甲子園ボウル
公式サイト
はこちら



学生主体の
プロジェクト
4Q For SDGs
インスタはこちら



甲子園ボウル
芝生移設プロジェクト
クラファンは
こちら



CHAIN つなぐ、つながる、つなげよう。